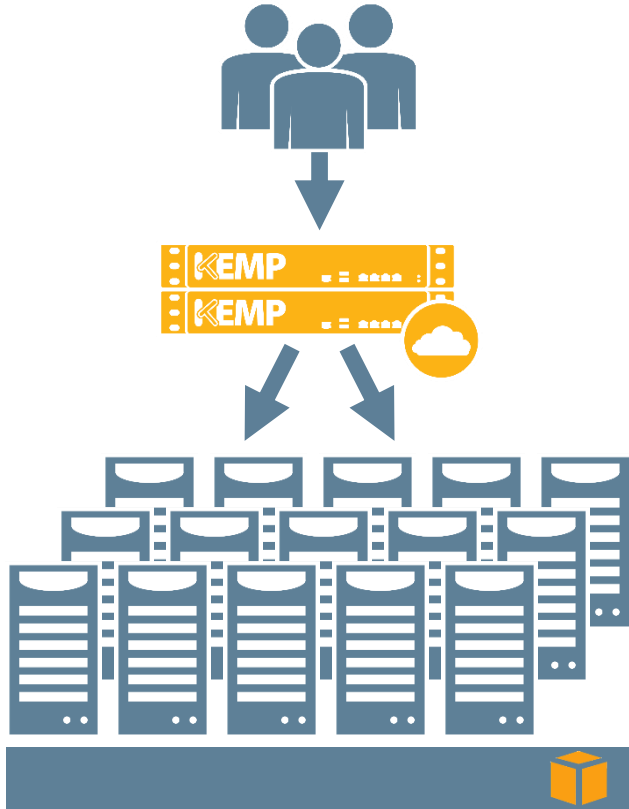


# Virtual LoadMaster™ for AWS

## Solution Matrix

- 先進的な L4/L7 ロードバランシング
- Azure ギャラリーから簡単にデプロイ
- フリー版を用意
- BYOL オプションが利用可能



### マイクロソフト Azure の負荷分散に最適 先進的な L4/L7 ロードバランシング

LoadMaster™(VLM) for Azure は、マイクロソフト Azure のクラウド環境で、L4/L7 ロードバランシングとアプリケーション配信を、ネイティブに実行しトラフィックを最適化します。Azure プラットフォームには標準の負荷分散機能がありますが、VLM for Azure は標準負荷分散で不足する機能を補完し、最適なアプリケーション配信を実施します。

VLM for Azure は包括的なトラフィックの分散、セッションの保持、SSL アクセラレーションを提供すると共に、コンテンツキャッシュと圧縮、侵入検知と防御などの効率化とセキュリティをかね備えたロードバランサです。1つのエンドポイントに複数のバーチャルサービスを割当てて配信することも可能です。

Azure クラウドにデプロイした VLM インスタンスとオンプレミス環境を一体化し、クラウドの境界を超えてサービスの継続性を確保します。このことは、システムをハイブリット化し高い可用性による運用を可能にします。

Web アプリケーションのインフラとして、サービスの継続運用を実現する上で、LoadMaster の先進的な ADC(アプリケーション デリバリー コントローラ)機能は、システム構築に欠かせないものになります。

特長	優位性
ハイパフォーマンス L4/L7 ロードバランシング	アプリケーションエクスペリエンスの可能性を最大限に引出し、有効に機能させます。
インテリジェント アプリケーションヘルスチェック	ユーザのリクエストは、常に利用可能なアプリケーションとサーバのみに送られ、レスポンスの信頼性を最大限に保証します。
L7 パーシスタンス	サーバ コネクションは、ユーザの IP アドレスが変わっても、トランザクションが有効な限りセッションを継続します。
L7 コンテンツスイッチ	イメージ、マルチメディア、アプリケーション等のコンテンツタイプで、最適なサーバトラフィックを設定することができます。
TLS(SSL) オフロード	SSL キーと証明書を統合管理し、サーバ負荷を軽減しパフォーマンスを最大化します。
コンテンツ圧縮とキャッシング	内部ネットワークの遅延を改善し、帯域を効率化することで、クライアントエクスペリエンスを可能な限り最適化します。
侵入検知と防御(IPS)	暗号化、非暗号化のトランザクションにかかわらず、アプリケーションの脅威を取り除きます。
システム負荷に応じたサイジング	サービスのトランザクションに応じて、SSL オフロードパフォーマンスを 100TPS から 10000TPS まで選択できます。
ハイブリッドなシステム構成	LoadMaster GEO と組合せると、トランザクション負荷は複数サイトにまたがって分散させることが可能です。

# Virtual LoadMaster™ for AWS

Specifications version 7.2

Virtual LoadMaster モデル	200Mbps	2000Mbps	5000Mbps	10Gbps	Free Edition
最大バランサ スループット(Mb) *1	200	2000	5000	10,000	20
TLS(SSL)処理能力 *1*2	200	1000	10,000	12,000	50
最大バーチャル サービス数*1*2	500	500	500	500	256
L4/L7 ロードバランシング	✓	✓	✓	✓	✓
コンテンツスイッチング	✓	✓	✓	✓	✓
コンテンツ キャッシュ/圧縮エンジン	✓	✓	✓	✓	✓
IPS(SNORT ルール互換)	✓	✓	✓	✓	✓
L7 クッキー パーシステンス(アクティブ/パッシブ)	✓	✓	✓	✓	✓
アプリケーション テンプレート	✓	✓	✓	✓	✓
Web アプリケーション ファイアウォール *3	✓	✓	✓	✓	✓
TCP/UDP IP アプリケーションをサポート	✓	✓	✓	✓	✓
GSLB による HA *3	✓	✓	✓	✓	✓
TCP/IP マルチプレキシング	✓	✓	✓	✓	✓
IPsec VLAN サポート	✓	✓	✓	✓	✓
エッジセキュリティ パック*4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレオーセンティケーション</li> <li>・ シングルサインオン(SSO)</li> <li>・ パーシステンス ユーザ ログイン</li> <li>・ X.509 クライアント認証</li> <li>・ マルチドメインログイン</li> <li>・ 2 要素認証</li> </ul>	✓	✓	✓	✓	✓
HA ベア構成をサポート	✓	✓	✓	✓	✓

\*1 すべての値は、各モデルに設定される最大値です。

\*2 実際のパフォーマンスは、CPU、メモリ、ネットワーク、その他、仮想環境の設定によります。

\*3 機能を利用するには、J-Enterprise+ のサブスクリプション契約が必要です。

\*4 機能を利用するには、J-Enterprise か J-Enterprise+ のサブスクリプション契約が必要です。

## ■ オーダリング コード

BYOL ライセンス	VLM-200-AWS	VLM-2000-AWS	VLM-5000-AWS	VLM-10G-AWS	Free
スタンダード保守	VLM-200-AWS J-Standard	VLM-2000-AWS J-Standard	VLM-5000-AWS J-Standard	VLM-10G-AWS J-Standard	—
エンタープライズ保守	VLM-200-AWS J-Enterprise	VLM-2000-AWS J-Enterprise	VLM-5000-AWS J-Enterprise	VLM-10G-AWS J-Enterprise	—
エンタープライズ プラス保守	VLM-200-AWS J-Enterprise+	VLM-2000-AWS J-Enterprise+	VLM-5000-AWS J-Enterprise+	VLM-10G-AWS J-Enterprise+	—

\* LoadMaster のご購入では、本体ライセンスに加えて上記のいずれかの保守ライセンスの購入が必要になります。